

設定手順書（ログ収集有効化）

beat/entry版

2012年2月28日

富士ゼロックス株式会社

はじめに

この設定手順書では、beat-boxの稼働状況を把握するためのログ設定方法についてご案内しております。

ログ収集設定は以下になります。

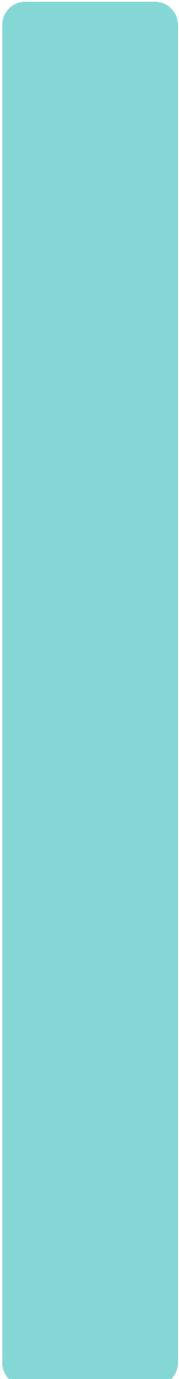
- 1) 不正な通信対策設定
- 2) 迷惑メール判定機能

また、不正な通信対策機能を現在ご利用でない場合には、ぜひこの機会に有効にし、ご活用いただければ幸いです。

なお、本設定手順書についてのお問い合わせはbeatコンタクトセンターにて承ります。

お問い合わせ窓口 beatコンタクトセンター

0120-126414



事前準備

これからの作業について必要な情報を用意する

目的

beat-boxの責任者でbeat-boxの管理画面にログインして設定を変更するために必要な情報を確認し、用意する。

事前に確認が必要なもの

beatサービスの設定は、ウェブブラウザから所定の情報を入力してアクセスします。よって、以下の情報を事前にご確認ください。

- 責任者のID▶ A
- 責任者のパスワード▶ B

わからない場合は...

- 責任者のIDは、以下の場所で確認することができます。
設定ページ > 右上のログイン > 一番下の「beat-box責任者」をクリック
- 責任者のパスワードがわからない場合
beatコンタクトセンターにて初期化することができます。
なお、初期値はbeat-boxのシリアル番号です。

操作がわからない場合やみつけれない場合には、beatコンタクトセンターまでご相談ください。なお、操作方法については、beatのオンラインヘルプにも記載があります。



実際のログ収集設定について

ログ機能等の有効について

目的 ログ機能等を有効にして、ログを収集できるようにする。

詳細

以下2つの項目を設定いたします。

■ 高度な設定画面から設定

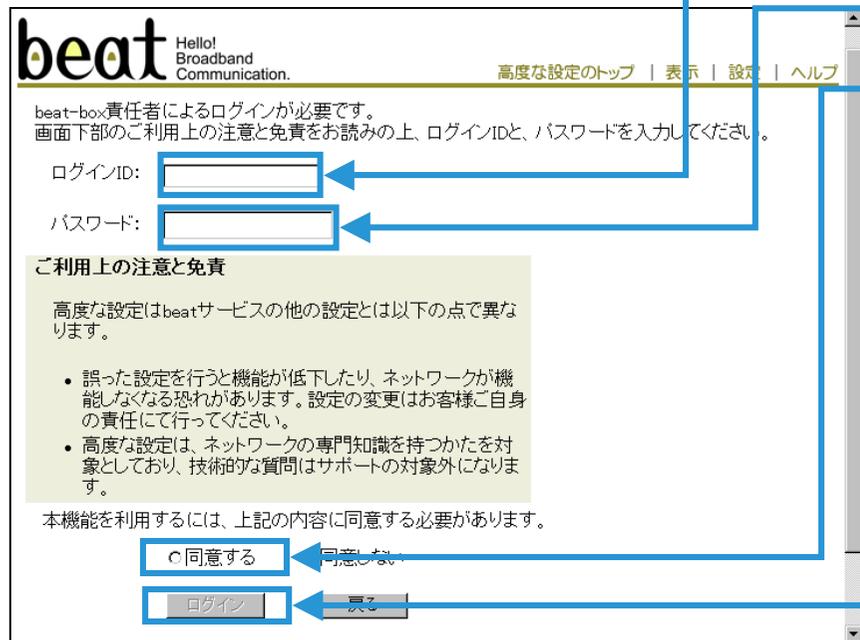
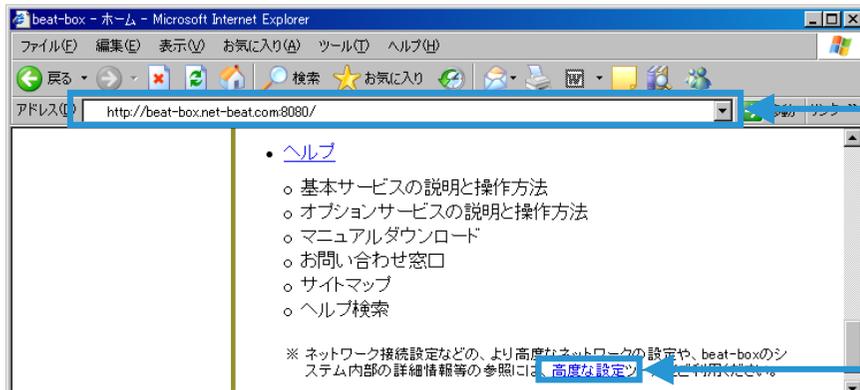
- ・ 不正な通信対策設定・・・（8頁参照）

※不正な通信対策機能の設定自体が無効の場合は、有効にして禁止アプリケーションを設定します。・・・（8,9頁参照）

■ beat設定ページから設定

- ・ 迷惑メール判定機能・・・（10頁参照）

高度な設定画面に責任者でログインする



設定手順

- ① 設定画面をひらきます。
アドレス欄に以下の文字列を入力します。
http://beat-box.net-beat.com:8080/を入力。
- ② 一番下の「高度な設定」をクリックします。
- ③ 高度な設定のトップ画面が表示されます。
- ④ ログインID欄に責任者のIDを入力します。
※4頁で調べたAの値を入力してください。
- ⑤ パスワード欄に責任者のパスワードを入力します。
※4頁で調べたBの値を入力してください。
- ⑥ 画面の中段にある「ご利用の注意と免責」をよくお読みのうえ、問題がなければ[同意する]を選択します。
- ⑦ [同意する]をクリックすると、[ログイン]ボタンを押せるようになるので、[ログイン]ボタンをクリックします。
- ⑧ 画面が切り替われば、ログイン成功です。

不正な通信対策設定ログ取得設定（1）

目的

不正な通信対策設定を有効にする。
※不正な通信対策機能の設定自体が「無効」の場合にご活用ください

設定手順

※ブラウザを閉じられた場合は7頁の「高度な設定画面に責任者でログインする」を実施してください。

- ① 右上のメニューの右から2番目の[設定]のリンクをクリックします。
- ② 左側メニューの[不正な通信対策設定]のリンクをクリックします。
- ③ [詳細設定]のリンクをクリックします。
- ④ [有効/無効]のプルダウンで「有効」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
※プルダウンの項目が最初から「有効」になっている場合は、不正な通信対策設定が有効になっています。その場合は作業終了です。
- ⑤ 変更確認の画面に変わりますので、[設定]ボタンをクリックします。
- ⑥ 「不正な通信対策の詳細設定を次のように設定しました。
有効/無効 有効」と表示されていれば設定完了です。
- ⑦ 引き続き9頁を参考に作業を行ってください。

不正な通信対策設定

有効/無効 [有効]

不正な通信対策機能の対象外とする機器を設定します。
● 対象外の機器のIPアドレスは、1件/1行の入力で、最大200件まで入力が行えます。

対象外の機器のIPアドレス

（例）192.168.0.1
10.0.0.0/255.255.255.0
10.0.0.0/24

11頁の「補足設定の注意事項」を参照

■ご利用上の注意

- 本機能を無効にすると、禁止アプリケーションの通信だけでなく、その他の通信の検知・遮断もできなくなります。危険を理解したうえで、「無効にする」を選択してください。
- 対象外の機器として指定された機器においては、本機能を無効にしたと同じ動作となります。危険を理解したうえで、設定してください。
- 本機能は、全ての悪意のある通信を「不正な通信」として検知・遮断することを保証するものではありません。

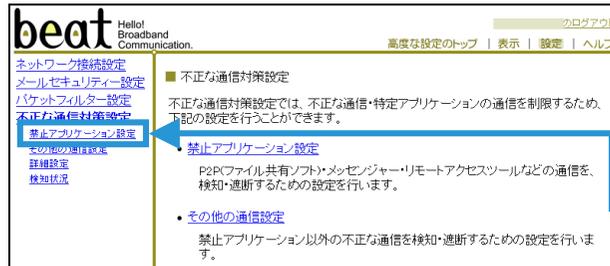
次へ

キャンセル

不正な通信対策設定ログ取得設定（2）

目的

不正な通信対策設定の禁止アプリケーションを有効にする。
 ※不正な通信対策機能の設定自体が「無効」の場合にご活用ください



設定手順

① 引き続き不正な通信対策設定を行います。
 左側のメニューから[禁止アプリケーション設定]のリンクをクリックします。

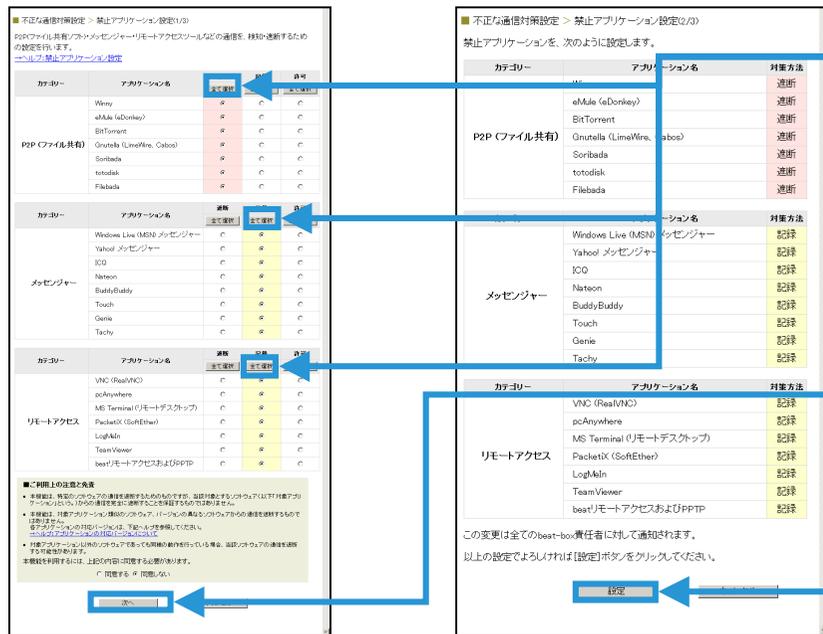
② 禁止アプリケーションの設定画面が表示されるので、以下の条件の[すべて選択]ボタンをクリックしてください。

- ・P2P…「遮断」
- ・メッセージャー…「記録」
- ・リモートアクセス…「記録」

※上記はあくまで推奨設定です。お客様の運用状況に応じて任意に選択いただいても結構です。

③ 注意事項をご確認いただき、問題がなければ[同意する]のラジオボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。

④ 確認画面へ遷移します。設定が②のとおりになっていることを確認して[設定]ボタンをクリックしてください。



11頁の「補足設定の注意事項」を参照してください。

迷惑メール判定機能の設定

目的 迷惑メール判定管理機能を有効にする。

The screenshot shows the 'beat' web interface. The address bar contains 'http://beat-box.net-beat.com:8080/'. The main menu includes 'ホーム', '利用', and '設定'. The left sidebar menu lists various management options, with '迷惑メール判定管理' highlighted. The main content area shows the '迷惑メール判定管理' page with a sub-menu '有効/無効' and a '次へ' button. Blue arrows indicate the navigation path from the home page to the settings page and then to the specific option.

設定手順

- ① beat設定ページを開きます。
アドレス欄に以下の文字列を入力し、Enterキーを押下します。
http://beat-box.net-beat.com:8080/
- ② 右上のメニューの右から2番目の[設定]のリンクをクリックします。
- ③ 左側のメニューから[迷惑メール判定管理]のリンクをクリックします。
- ④ 右側のメニューの一番上の[有効/無効]のリンクをクリックします。
- ⑤ [有効/無効]の画面に切り替わりましたら、内容をご確認いただき、問題がなければ「上記の内容に同意して、迷惑メール判定を「有効」にする」を選択して[次へ]ボタンをクリックします。
※すでに有効の場合でも、本画面が開きます。
- ⑥ 画面に沿って[設定]ボタンをクリックしてください。作業はこれで終了です。

11頁の「補足設定の注意事項」を参照



補足.設定の注意事項

サマリー

設定は確実に「設定しました。」が表示されるまで続けてください。
※項目右側の分母と分子が同じ数字になるまで確認してください。

3. 本規約の変更
(1) 当社は、利用者等の承諾を得ることなく、必要に応じて本規約を変更することができるものとします。この場合、当社は利用法人に対し、変更後の本規約を当社所定の方法により通知するものとします。
(2) 本規約の変更は、利用法人に通知された時点で効力を生じるものとします。

上記の内容に同意して、迷惑メール判定を「有効」にする
 迷惑メール判定を「無効」にする

次へ キャンセル

■ 迷惑メール判定管理 > 有効/無効(2/3)

迷惑メール判定を次のように設定します。

利用規約に同意して迷惑メール判定を「有効」にする

この変更はすべてのbeat-box責任者に対して通知されます。
以上の設定でよろしければ、[設定]ボタンをクリックしてください。

設定 キャンセル

■ 迷惑メール判定管理 > 有効/無効(3/3)

迷惑メール判定を次のように設定しました。

利用規約に同意して迷惑メール判定を「有効」にする

■注意:迷惑メール判定を初めて「有効」に設定した場合は…
迷惑メール判定を「有効」に設定した後に、各利用者のメールクライアント設定を行うことで、迷惑メールの振り分けが行えるようになります。メールクライアントの設定例は、ヘルプを参照してください。
→ヘルプ:メールクライアントの設定例

解説

- さまざまな設定を行う際に設定内容を選択し[次へ]ボタンをクリックしますが、これを押しただけでは、設定は反映されません。
- 次の画面に遷移した際にタイトルを確認してください。「■ XXXXX > XXXX (9/9)」の書式になっています。左の画面例ですと「■迷惑メール判定管理 > 有効/無効 (2/3)」です。この最後の () の中の分数に注目してください。分母が工程数で分子が現在の位置になります。左の画面例は (2/3) ですので、まだ完了していないことがわかります。画面をよく見て[設定]ボタンをクリックしてください。
- 次の画面に遷移します。その時に再度、タイトルの分数を確認します。左の画面例のように (3/3) となっていれば、その設定は完了です。念のため、その画面に記載されている内容をご確認いただいた後に作業を完了してください。

FUJI XEROX

